

和風壁を洋風壁にしましょう

和風の壁を洋風の壁にする方法は2通りあります。

●ペンキを塗る

●壁紙を貼る

(当社発行のハウツーペーパーNo8「和風壁に壁紙を貼る」、No19「壁紙の貼り方」をご覧ください。)

本格的な方法

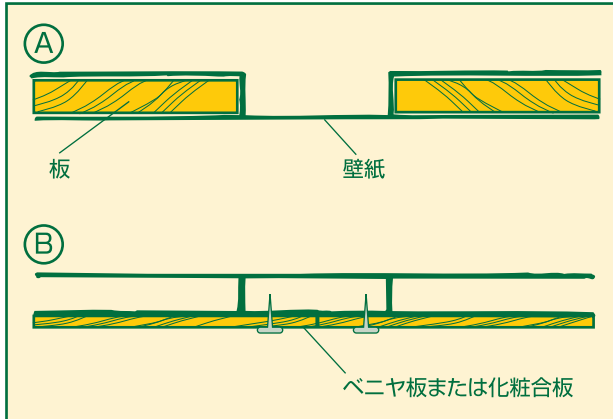
壁の柱部分の出っ張りもなくして本格的な洋風の壁にする場合で、これも下図の(A)②2通りあります。

●壁紙を貼る場合

和風壁に壁紙用下塗り剤を塗り(当社発行のハウツーペーパーNo8「和風壁に壁紙を貼る」をご覧ください)、壁がガラガラ落ちてこないように下準備をしてから始めてください。

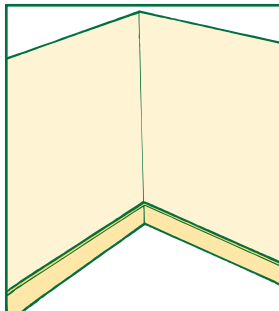
1 柱の厚さを測る

下塗り剤がよく乾いてから柱の出ている部分の厚さを測ります。そしてその厚さに合ったベニヤ板を壁の面積分購入します。もし厚さが合わない場合は、柱ごとおおうようにすると簡単で、これだと薄めのベニヤ板でも大丈夫です。壁に直接ベニヤ板を貼る場合は強力な両面テープで貼り、柱をおおう場合はクギで柱に打ちつけます。また柱をおおう場合は、ベニヤ板でなくて化粧合板にすると、壁紙を貼らなくてもそのまま洋風壁になります。



2 壁紙を貼る

貼ったベニヤ板に壁紙を貼ります。(当社発行のハウツーペーパーNo19「壁紙の貼り方」をご覧ください。)



畳は一年に一度は干しましょう

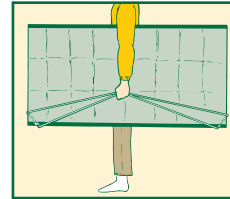
畳は部屋の湿気が多いときは吸収し、乾燥しているときは湿気を放出して部屋の湿度を調整してくれています。しかしそれでも長い間敷いたまましていると、地面からの湿気などでだんだんしけてきますので、一年に一度は畳を上げて干したいものです。一年に一度が難しい場合でも、三年に一度は最低でも一度は干すようにしましょう。

●畳の干し方

畳がきつくて持ち上がらない場合は、マイナスのドライバーで少しこじるようにすると持ち上がります。片方を持ち上げてその裏を見ると、真ん中に持つためのひもがついていますので、それを片手で握り、運び出します。ひもがついていないときにひとりで出す場合は、ひもをイラストのようにすると持てます。

・畳の下の荒床に乗ると、折れてしまうことがありますので、乗るときは必ず根太のあるところに乗るようにしましょう。

・外に干すスペースがない場合は、部屋の中で一日ほど立てておくだけでも効果があります。



サービスのご案内



配送ベカ便 切り売り商品 修理



返品・交換 表札、額の受注 スペアキーづくり

●クレジットもご利用になれます。



制作発行 / 株式会社セキチウ 販売促進部
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111(大代表)

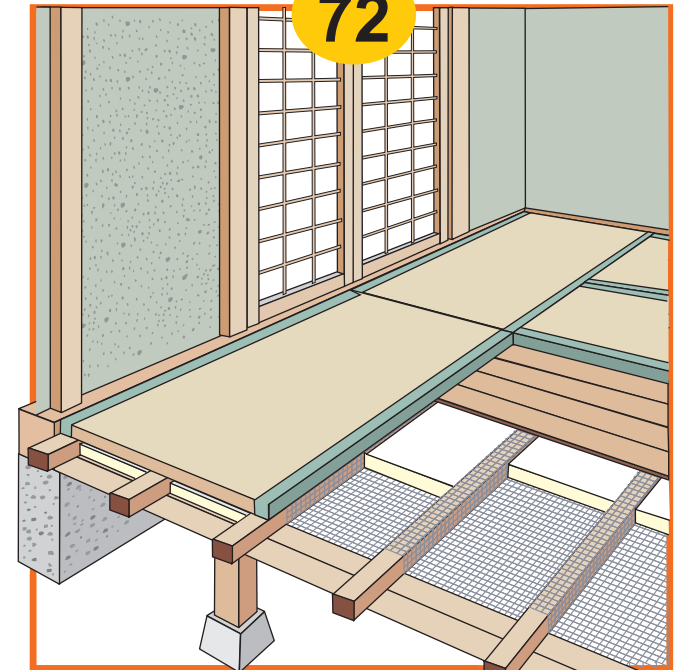
©無断転載は禁止します

畳の部屋を快適に

自分でやってみよう!

セキチウ
HOW TO D.I.Y

72



夏は涼しく、冬は暖かくと、畳は日本古来の床として親しまれてきました。しかしフローリング床の人气が近年高まり、畳からフローリングの床にリフォームしたいという方も多いうようです。また逆にフローリングの床の一部に畳を敷いて、くつろぎのスペースにという傾向も出てきています。畳とフローリング、和室と洋室が混在するという日本独特の生活様式から、もっと快適に住みたいという欲求は飽くことを知りません。とりあえず、現状の部屋をどのようにしたらもっと快適になるのか検討しましょう。

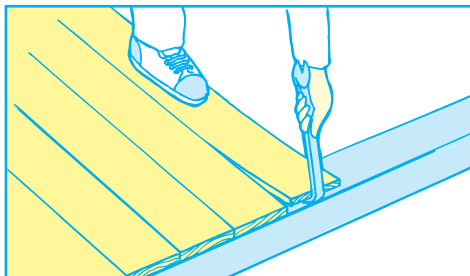
Do it Yourself & Save

和室の部屋を快適にする工夫

畳の下に断熱材を入れましょう

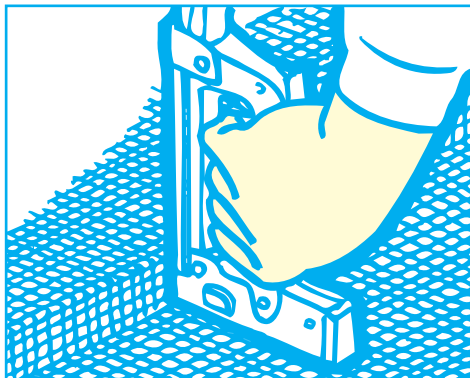
1 畳を上げる

畳を持ち上げてはすし、その下にある荒床といわれる板をはがします。根太と根太の中間部分を少し踏んで、すき間をつくり、そこにパールをこじ入れて一枚はがし、そこから順にはがしていきましょう。



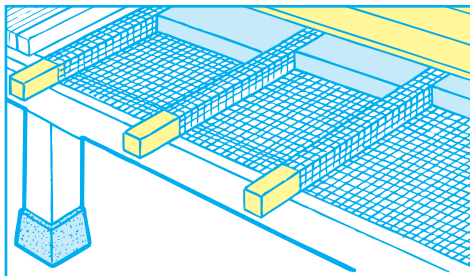
2 ネットを張る

根太にアミ戸用の張り替え用アミをガンタッカーやU字クギで止めていきます。巻きぐせがついているときは、巻きこみ面を下にして根太の側面にも止めるようにするといいでしょう。



3 断熱材を入れる

張ったネットの上に厚さ50mmの断熱材をアルミ箔のついている防湿面を上(室内側)にして、すき間なく敷きこんでいきます。



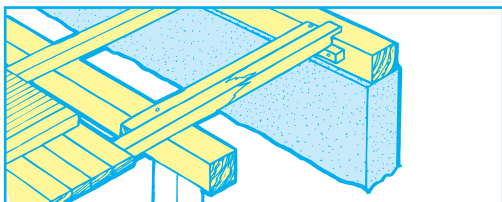
4 荒床を張る

断熱材を敷き終えたら、荒床をはがしたときは逆に張り直し、最後に畳を入れてでき上がりです。この作業の間、畳は外でよく乾燥させておくこと畳のリフレッシュにもなり、一石二鳥というところですよ。

畳の沈みを補修しましょう

1 大引と大引の間

新しい根太を大引きに渡し、クギで止めましょう。

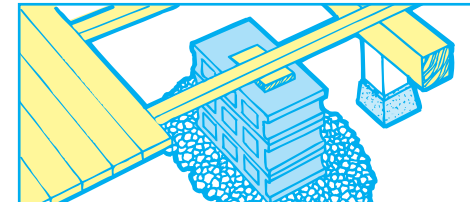


2 土台と根太受けの間

土台に適当な大きさの根太受けを、木工用接着剤をつけてから打ちつけ、そこに根太を止めます。

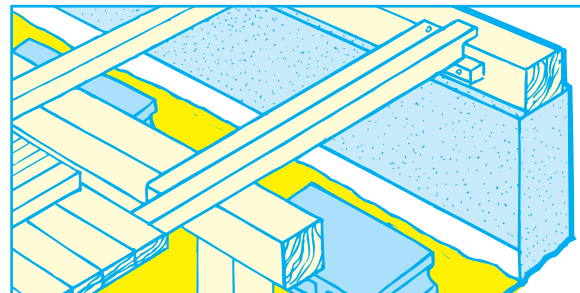
3 重いものを置く場合

本棚やたんすを置く部分が折れている場合は、根太の下にブロックを置き、補強しておくといいでしょう。ブロックのしたに砂利を敷き、地面をつき固めてからブロックを置いてください。根太とブロックの間にすき間ができたときは、クサビを打って調節してください。



地面から湿気を防ぎましょう

畳の床下の地面の湿気が多い場合は、地面に湿気を防ぐ土間シートを敷くといいいでしょう。接ぎ目は15cmくらい重なるようにして、ところどころ石やブロックを上置き、重ししておくといいいでしょう。



※土間シートは取り寄せになりますので係員までご注文下さい。

畳の部屋を洋間にリフォーム

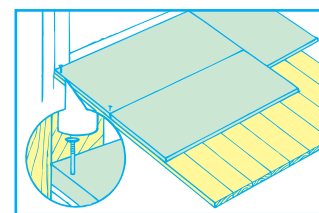
●フローリングの床

(当社発行のハウツーペーパーNo76「フロア材の張り方」をご覧ください。)

●カーペットの床

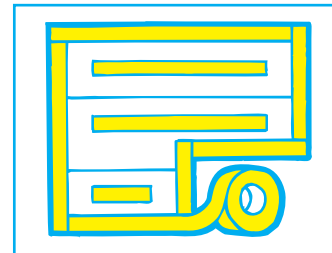
1 コンパネを敷く

コンパネを必要な量だけ用意し、畳を上げた荒床の上に敷き、必要所をクギで固定していきます。



2 カーペットテープを貼る

肉厚のカーペットテープを、はくり紙をはがさないでイラストのように貼り、中央部にも仮止めのテープを貼っておきます。



3 カーペットを切る

カーペットを床に広げ、部屋の長さより長めにきっておきます。(荒切り)

4 一枚目を貼る

一枚目の両端が余るように敷き、壁にぴったりとつけてから中央のテープのはくり紙をはがして固定します。



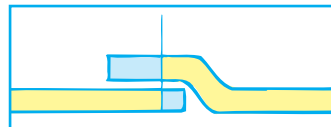
5 壁際の処理

和裁のヘラ等で壁際を決めこんでいきます。



6 接ぎ目を切る

接ぎ目には2枚目を少し重ねて敷き、重ねたカーペットの中央をカッターで切ります。それからテープのはくり紙をはがして接ぎ目をぴったりと合わせてからテープに圧着させてください。



7 角を決めこむ

同じ手順で敷いていき、最後の角の部分はヘラで決めこんでからカッターで余分な部分を切りとり、テープのはくり紙をはがして圧着させます。

